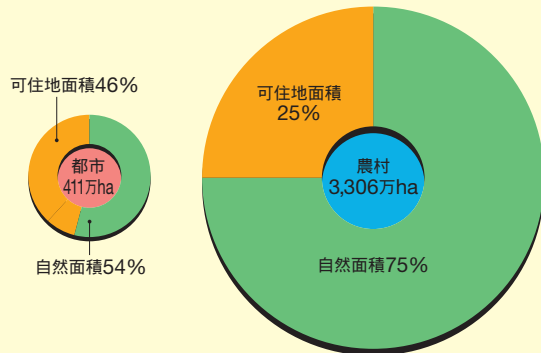


都市と農村の主要指標の比較

土地 / 人口

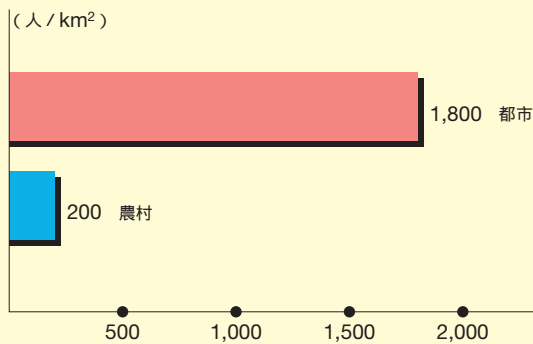
農村では広い土地と自然に囲まれた生活が営まれています。

土地形態

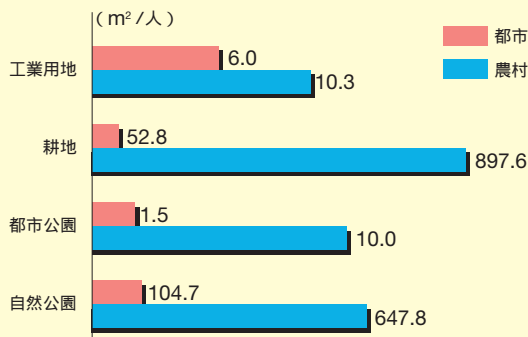


都市は、中都市(人口10万人以上の市) 農村は町村(10万人未満の市町村)

人口密度



土地利用(1人あたり面積)

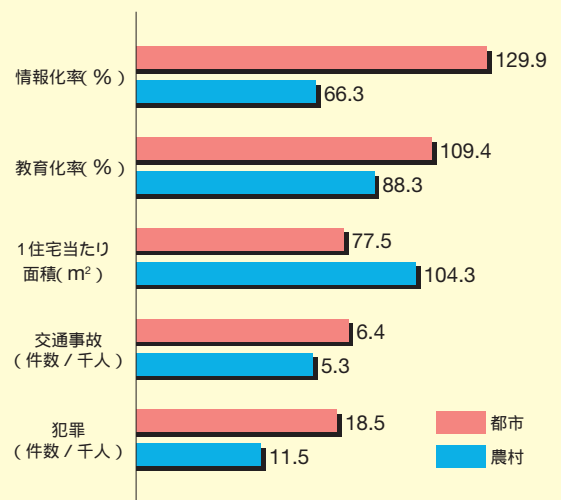


資料) 総務省「社会生活統計指標(平成13年)」、朝日新聞社編「'00民力」、総務省「住民基本台帳人口要覧(平成12年)」、厚生労働省「人口動態統計(平成11年)」、国土地理院「全国都道府県市町村別面積調査(平成11年)」

社会 / 生活

都市では情報化や教育への取り組みも進んでいる一方で、農村では都市に比較して、安全でゆとりのある生活が見通せます。

社会一般



情報化率とは、コンピュータ購入、雑誌・新聞の購入、ビデオ保有率等を総合的に指標化。教育化率とは、大学・高校志願率、世帯当たり教育費支出を総合的に指標化。
情報化率・教育化率は、全国の水準値を100とする。
資料) 警察庁「犯罪統計書(平成10年)」、朝日新聞社編「'00民力」

身近な生活環境の改善要望

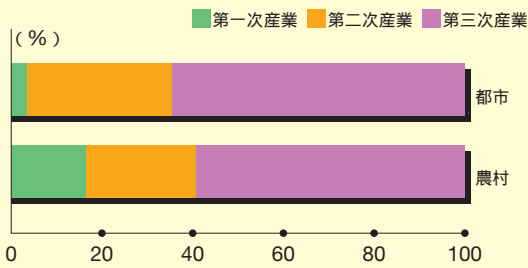


資料) 総理府「これからの国土づくりに関する世論調査(平成8年度)」

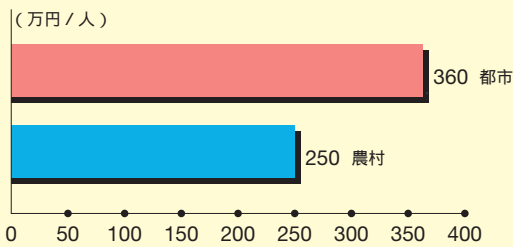
経済

農村は第一次産業の比率が高く、得られる所得は都市の約70%、1人当たりの預貯金も約65%です。

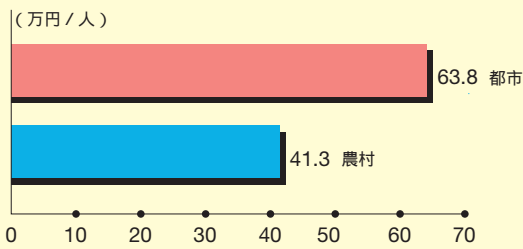
就業構造



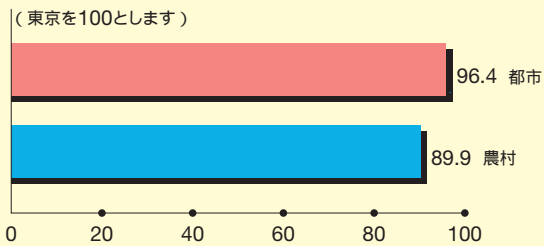
所得



1人当たりの預貯金額



消費者物価地域差指数



資料) 経済企画庁「県民経済計算(平成12年)」、総務省「社会生活統計指標(平成13年)」

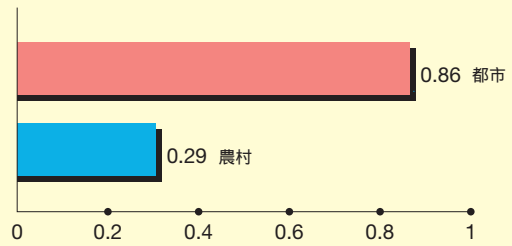
行政 / 生活・経済基盤

農村部の地方自治体の財政基盤は強固ではありません。

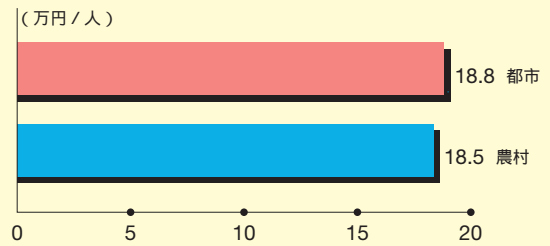
生活関連の行政投資額は、都市と農村で同水準であるにもかかわらず、下水道施設を始め殆どの項目で農村の社会基盤の整備は遅れています。

財政力指数

地方公共団体の運営に必要な財源をどの程度自らの収入で賄えるかを表しています。

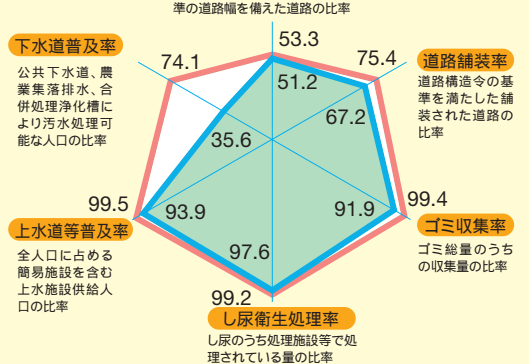


生活関連行政投資額



社会基盤の整備率

(%)



資料) 総務省「公共施設状況調査(平成11年)」、自治省「行政投資実績(平成11年)」